

令和2年度

大学院薬学研究科
薬科学専攻

修士課程

学生募集要項

昭和薬科大学

〒194-8543 東京都町田市東玉川学園3-3165
教務課 大学院係： TEL 042-721-1518 (直通)
FAX 042-721-1588

令和2年度 大学院薬学研究科（修士課程）学生募集要項

アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

本学大学院薬学研究科は、「薬を通して人類に貢献」を理念とし、薬科学専攻修士課程では、薬科学の高度な専門知識と技術を身に付け、それらを自ら運用することによって問題を解決し、科学の発展に国際的なレベルで貢献できる人材の養成を教育目標としています。薬学のみならず広く科学を学んだ方や社会人あるいは留学生に対して多様な選抜方法を取り入れて、国内外から幅広く人材を募集します。

- ①薬科学分野において真理探究への情熱と忍耐力を有する者
- ②知的好奇心に富み、幅広い知識の習得に積極的に取り組む姿勢を有する者
- ③国際的な視野に立って自ら学び続ける熱意を有する者
- ④高い倫理観を有する者
- ⑤研究能力を高めるために自己研鑽を継続する意志を有する者
- ⑥社会に貢献しようとする意志を持つ者

1 募集人員

専攻名 薬科学専攻 募集人員 3名

2 出願資格

修士課程（標準修業年限2年）に出願できるのは、次の各号のいずれかに該当する者である。

- (1) 大学を卒業した者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者（令和2年3月までに学位を授与される見込みの者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（令和2年3月までに修了見込みの者を含む。）
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本大学院が、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに22歳に達する者

※推薦入学試験については、本大学院への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者

(留意事項)

出願資格の(1)及び(5)の「大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を指す。

3 出願手続

(1) 出願期間

推薦入学試験(1期) 令和元年6月24日(月)から7月5日(金)まで(必着)

一般入学試験(1期) 令和元年8月26日(月)から9月6日(金)まで(必着)

推薦入学試験(2期) 令和2年2月3日(月)から2月14日(金)まで(必着)

一般入学試験(2期) 令和2年2月3日(月)から2月14日(金)まで(必着)

受付時間：月曜～金曜 午前9時～午後4時

土曜 午前9時～正午

(2) 事前面談

出願を希望する者は、出願前に必ず志望する分野の研究指導教員と面談し、相談すること。

(注) 連絡先については、5ページの「領域・分野別研究指導教員連絡先」を参照のこと。
なお、教員との連絡がつかないときは、教務課(3の(4)出願先参照)まで連絡のこと。

(3) 出願方法

出願を希望する者は、以下の書類に入学検定料を添えて、出願期間内に提出すること。
書類を郵送の場合は、必ず「書留速達」で郵送すること。

入学検定料は、現金書留にて別途郵送すること。

(注) 出願期間を過ぎた場合は受理しない。郵送にて出願手続きを行う場合は、郵送期間を十分考慮の上郵送のこと。

(4) 出願先(郵送先)

〒194-8543 東京都町田市東玉川学園3丁目3165番地

昭和薬科大学事務局 教務課 大学院係

電話 (042) 721 - 1518 (直通)

(5) 出願書類及び入学検定料

| 出願書類 | 摘要 |
|--------------------------|---|
| 1. 入学願書 | 本学所定の用紙（写真を貼ること） |
| 2. 調査書 | 本学所定の用紙 出身学校の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 |
| 3. 卒業（見込）又は 修了（見込）証明書 | 出身学校の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 |
| 4. 受験承諾書 | 本学所定の用紙 官公庁その他民間会社等に在職中の者は、所属長の受験承諾書を提出すること。なお、本大学院への入学に際し退職する場合は提出の必要はない。 |
| 5. 志願理由書 | 本学所定の用紙（400字以内、横書）、推薦入学試験の場合に提出すること。 |
| 6. 推薦書 | 本学所定の用紙、推薦入学試験の場合に提出すること。 大学等に在学中の指導教員等が作成したもの。 なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者は、指導教員等の推薦書に代えて、所属長の推薦書を提出することができる。 |
| 7. 受験票返送用封筒 | 郵便にて出願を行う者は、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 362 円（速達）を貼付した封筒を同封すること。 |
| 8. その他 | 受験票に貼付する写真（縦 5cm × 横 4cm、裏面に氏名記入）は、上半身、脱帽正面向きで、3 ヶ月以内に撮影したもの。 入学資格審査の判定により出願資格を有すると認定された者は、入学資格認定書のコピーを同封すること。 |
| 9. 入学検定料 | 35,000 円 |

(6) 出願資格の認定

出願資格に定める (5) に該当する場合は、出願に先立ち、入学資格審査を申請すること。審査の結果、資格を認定された場合に出願が認められる。

ア. 入学資格審査申請受付期間

1次 令和元年6月10日～6月28日

2次 令和2年1月20日～2月7日

イ. 入学資格審査申請を希望する者は、事前に昭和薬科大学教務課大学院係へ問い合わせること。

(7) 出願上の注意事項

ア. 提出書類の不足、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理できないので、出願の際に十分確認すること。

なお、出願書類受理後、入学志願票等の記入に瑕疵が判明した場合は、「受験資格の無い者」として取り扱うことがある。

イ. 出願書類受理後には、記載事項の変更は認めない。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には速やかに教務課まで連絡すること。

ウ. 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学許可を取り消すことがある。

エ. 出願書類及び既納の入学検定料は返還しない。

オ. 入学試験の専門科目および専門英語は出願時に選択すること。受験時の変更は認めない。

◆領域・分野別研究指導教員連絡先

大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程の領域・分野と研究指導教員

| 領域 | 分野 | 研究指導教員 | 所属研究室等 | 電話（内線） |
|-------|---------|-----------|-----------------------|---------|
| | | | 042 - 721 - 1511 (代表) | |
| 基盤薬科学 | 物理化学 | 教授 秋澤宏行 | 薬品物理化学 | 内線 2400 |
| | 反応有機化学 | 准教授 森田延嘉 | 薬化学 | 内線 2522 |
| | 感染免疫学 | 教授 金本大成 | 微生物学 | 内線 2200 |
| | 分子薬理学 | 教授 渡邊泰男 | 薬理学 | 内線 2120 |
| | 薬品作用学 | 教授 増田 豊 | 応用薬物 治療部門 | 内線 2312 |
| | 環境毒性学 | 教授 石井 功 | 衛生化学 | 内線 2330 |
| | 分子細胞生物学 | 教授 伊東 進 | 生化学 | 内線 2301 |
| 創薬科学 | 分析化学 | 教授 唐澤 悟 | 薬品分析化学 | 内線 2210 |
| | 薬用植物資源学 | 教授 高野昭人 | 薬用植物資源 | 内線 2515 |
| | 天然物化学 | 准教授 中根孝久 | 天然物化学 | 内線 2501 |
| | 医薬分子設計学 | 教授 伊藤俊将 | 医薬分子化学 | 内線 2530 |
| | 医薬品合成化学 | 准教授 山崎 龍 | 薬品化学 | 内線 2423 |
| | 薬物動態学 | 准教授 清水万紀子 | 薬物動態学 | 内線 2232 |
| | 創剤学 | 准教授 小泉直也 | 薬剤学 | 内線 2222 |
| | 薬効解析学 | 教授 水谷顕洋 | 薬物治療学 | 内線 2130 |
| | 医薬品安全性学 | 教授 渡部一宏 | 実践薬学部門 | 内線 1440 |
| | 社会薬学 | 教授 宮崎生子 | 社会薬学 | 内線 2418 |

(注) 各領域の教育及び研究内容については、別表1「令和元年度 薬科学専攻修士課程 授業科目と担当教員」及び別表2「令和2年度薬科学専攻修士課程分野別研究テーマ」を参照のこと。

4 外国人留学生の取扱い（若干名）

(1) 出願資格

- ア. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（令和2年3月までに修了見込みの者を含む。）
- イ. 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ウ. 本大学院が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(2) 出願書類

国外からの出願者は、日本国内在住の身元保証人をおして書類を提出すること。

なお、出願資格のイ、ウで出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、3の(6)に定める申請をすること。

| 出願書類 | 摘要 |
|--------------------------|---|
| 1. 入学願書 | 本学所定の用紙（写真を貼ること） |
| 2. 成績証明書 | 出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 |
| 3. 卒業（見込）又は 修了（見込）証明書 | 出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 |
| 4. 推薦書 | 本学所定の用紙、推薦入学試験の場合に提出すること。 大学等に在学中の指導教員等が作成したもの。 なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者は、 指導教員等の推薦書に代えて、所属長の推薦書を 提出することができる。 |
| 5. 外国人登録原票 記載事項証明書 | 現に日本に在留している外国人で入学を志願する者（在留 期間が90日を超える者）は、市区町村長が発行する「外国 人登録原票記載事項証明書」を提出すること。 |
| 6. パスポートの写し | 国外からの出願者は、パスポートの写しを提出すること。 |
| 7. 受験票返送用封筒 | 郵便にて出願を行う者は、郵便番号・住所・氏名を 明記し、郵便切手362円（速達）を貼付した封筒を 同封すること。 |
| 8. その他 | 受験票に貼付する写真（縦5cm×横4cm、裏面に氏名記入） は、上半身、脱帽正面向きで、3ヶ月以内に撮影したもの。 入学資格審査の判定により出願資格を有すると認定された 者は、入学資格認定書のコピーを同封すること。 |
| 9. 入学検定料 | 35,000 円 |

5 選考方法

学力試験（筆記試験）、面接試験並びに出願書類の記載事項を総合して判定する。

(1) 試験日程、試験科目及び試験場

1) 推薦入学試験

- ①昭和薬科大学卒業者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む）推薦
- ②昭和薬科大学以外の大学卒業者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む）推薦
- ③社会人推薦

大学卒業後、出願時において在職する（在職見込みを含む）官公庁その他民間会社等の所属長の受験承諾が得られる者。

試験日

1期 令和元年7月22日（月）

2期 令和2年3月9日（月）

試験科目 学力試験（英語）、小論文及び面接試験

英 語：一般英語（必須）

専門英語（化学系英語、生物系英語、医療系英語から1分野を出願時に選択）

| 時間 | 9：30～10：30 | 11：00～12：00 | 13：00～ |
|----|------------|-------------|--------|
| | 英語 | 小論文 | 面接 |

試験場 本学

2) 一般入学試験

1期 令和元年9月20日（金）

2期 令和2年3月9日（月）

試験科目 学力試験（英語と専門科目）及び面接試験

英 語：一般英語（必須）
 専門英語（化学系英語、生物系英語、医療系英語から1分野
 を出願時に選択）

専門科目：有機化学、天然物化学、物理化学、分析化学、
 衛生薬学、生化学、薬理学、薬剤学、薬物動態学、
 医療薬学（薬効解析学、医薬品安全性学）
 上記10科目から1科目を出願時に選択する。

| | | | |
|----|------------|-------------|--------|
| 時間 | 9：30～10：30 | 11：00～12：00 | 13：00～ |
| | 英語 | 専門科目 | 面接 |

試験場 本学

(2) 受験上の注意事項

- ア. 試験に関する諸注意等を行うので、午前9時15分までに試験室の指定された席に着くこと。
- イ. 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験を認めない。
 なお、交通事故その他やむを得ない事情で遅刻した者は、本学事務局教務課大学院係に申し出て指示を受けること。
- ウ. 受験票を持参すること。なお、受験票を忘れた場合は、試験開始前に本学事務局教務課大学院係にその旨を申し出ること。
- エ. 試験時の机上には、受験票、筆記用具以外のものは置かないこと。
- オ. 携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- カ. 受験票は、入学手続きの際に必要となるので、試験終了後も保管しておくこと。

6 合格発表

(1) 発表日時

1) 推薦入学試験（1期）

令和元年7月25日（木） 午後1時（予定）

推薦入学試験（2期）

令和2年3月12日（木） 午後1時（予定）

2) 一般入学試験（1期）

令和元年9月26日（木） 午後1時（予定）

一般入学試験（2期）

令和2年3月12日（木） 午後1時（予定）

(2) 発表方法

本学所定の掲示板（本館1階ホール、事務室横の掲示板）に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送する。

（注）電話等による問い合わせには一切応じない。

7 入学手続

入学試験に合格した者は、下記の指定期日内に所定の納付金と提出書類を揃え、入学手続きをすること。

(1) 指定期日

令和2年3月12日（木）から令和2年3月19日（木）まで（期間内必着）

(2) 提出書類

合格通知書とともに送付した書類を読み、遺漏無く提出すること。

(3) 入学手続上の注意事項

- ア. 入学手続期間内に手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものと
して取り扱う。

- イ. 必要な書類と入学金及び学生納付金が全てそろっていない場合には受理できないの
で、書類等の提出の際に十分確認すること。

- ウ. 提出書類は返還しない。

- エ. 入学手続後、令和2年3月31日正午までに入学辞退の申し出が無かった者に
ついては、令和2年4月1日以降在籍していたものとして入学金及び学生納付
金は返却しない。

8 入学金及び学生納付金（令和2年度）

入学金及び学生納付金明細表

（単位：円）

| 学 年 | 第1年次 | | 第2年次 | |
|-----|---------|-------|------|-------|
| | 納入期 | 納入期 | 納入期 | 納入期 |
| 科目 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| | (入学期) | (10月) | (4月) | (10月) |
| 入学金 | 300,000 | | | |

| 学 年 | 第1年次 | | 第2年次 | |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| | 納入期 | 納入期 | 納入期 | 納入期 |
| 科目 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| | (入学期) | (10月) | (4月) | (10月) |
| 授業料 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 |
| 学生納付金 計 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 |
| 学生教育研究災害傷害保険料 | 1,790 | | | |
| 学生教育研究付帯賠償責任保険料 | 680 | | | |
| 厚生福祉会費 | 30,000 | | 30,000 | |
| 委託徴収費 計 | 32,470 | 0 | 30,000 | 0 |
| 合計 | 282,470 | 250,000 | 280,000 | 250,000 |

本学薬学部卒業者には入学金を免除する。

9 その他

(1) 奨学制度

日本学生支援機構奨学金制度、昭和薬科大学柴田奨学基金制度に応募することができる。

(2) 個人情報の取扱について

- 1) 本学大学院入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の実施、入学手続、入学後の修学指導並びに学生支援関係業務（奨学・厚生補導、学内行事の案内送付、学生の履修登録用務等）及び入学試験に関する調査・研究を行うために利用し、これらの目的以外には利用しません。
- 2) 本学大学院入学者選抜の過程で収集した個人情報は、本学が厳密に管理し取り扱い、本人の承諾なく、第三者（本学教職員以外）に開示・提供は行いません。
- 3) 本学大学院薬学研究科に出願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

令和元年度 大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程 授業科目と担当教員 (別表1)

| | 授業科目 | 担当教員 (○印は科目責任者) |
|------------|---------------|----------------------------------|
| 総合 必修科目 | 外国語 | ○研究科長 水谷顕洋 非常勤講師 Jonathan Snell |
| | キャリアパス | ○研究科長 水谷顕洋 教授 宮崎生子 非常勤講師 高見正道 |
| | 創薬科学ゼミナール 1 | ○所属研究室大学院指導教員 |
| | 創薬科学ゼミナール 2 | ○所属研究室大学院指導教員 |
| 基盤 薬科学 | 物理化学特論及び演習 | ○教授 秋澤宏行 講師 宿里充穂 |
| | 反応有機化学特論及び演習 | 教授 田村 修 ○准教授 森田延嘉 講師 橋本善光 |
| | 感染免疫学特論及び演習 | ○教授 金本大成 講師 梶川瑞穂 |
| | 分子薬理学特論及び演習 | ○教授 渡邊泰男 講師 土屋幸弘 |
| | 薬品作用学特論及び演習 | ○教授 増田 豊 |
| | 環境毒性学特論及び演習 | ○教授 石井 功 講師 赤星軌征 講師 阿南弥寿美 |
| | 分子細胞生物学特論及び演習 | ○教授 伊東 進 講師 坂田宣夫 |
| 創薬理学 | 分析化学特論及び演習 | ○教授 唐澤 悟 講師 鈴木憲子 講師 臼井一晃 |
| | 天然物化学特論及び演習 | ○教授 高野昭人 教授 久保田高明 准教授 中根孝久 |
| | 医薬分子設計学特論及び演習 | ○教授 伊藤俊将 |
| | 医薬品合成化学特論及び演習 | 教授 岡本 巖 ○准教授 山崎 龍 講師 伊藤 愛 |
| | 薬物動態学特論及び演習 | ○教授 山崎浩史 准教授 清水万紀子 講師 村山典恵 |
| | 創剤学特論及び演習 | ○教授 宇都口直樹 准教授 小泉直也 |
| | 薬効解析学特論及び演習 | ○教授 水谷顕洋 |
| | 医薬品安全性学特論及び演習 | ○教授 渡部一宏 |

令和2年度 大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程 分野別研究テーマ (別表2)

| | 分野 | 研究指導教員 | 研究室等 | 研究テーマ |
|-------|---------|-----------|----------|---|
| 基盤薬科学 | 物理化学 | 教授 秋澤宏行 | 薬品物理化学 | ①がん化学療法の治療効果予測を目的とした分子プローブに関する研究 ②がん診断を目的とした分子プローブの体内挙動に関する研究 |
| | 反応有機化学 | 准教授 森田延嘉 | 薬化学 | ①金触媒を用いる新規反応の開発と天然物合成への応用 ②金触媒等を用いる新規反応の開発と天然物合成への応用 |
| | 感染免疫学 | 教授 金本大成 | 微生物学 | ①細菌プロテオームの定量解析 ②口腔常在菌の病原性に関する研究 ③ウイルスによる免疫回避の分子メカニズム |
| | 分子薬理学 | 教授 渡邊泰男 | 薬理学 | ①酸化ストレス時のカルシウムシグナル分子のレドックス応答性 ②炎症病態におけるイオウ代謝酵素発現の役割 ③活性イオウ分子発現誘導による老化制御薬の開発 ④ガス状分子の新しい情報伝達系 |
| | 薬品作用学 | 教授 増田 豊 | 応用薬物治療部門 | ①アポトーシス誘導物質の探索 ②ガン細胞におけるアポトーシス誘導機構の解析 |
| | 環境毒性学 | 教授 石井 功 | 衛生化学 | ①生理活性低分子(アミノ酸・ガス・脂質・薬品・毒物)の作用機序 ②代謝(糖・アミノ酸・脂質)連関と代謝リモデリング ③上記の連関する動物行動 |
| | 分子細胞生物学 | 教授 伊東 進 | 生化学 | ① TGF- β シグナル伝達制御機構 ② YAP シグナル伝達制御機構 ③ TGF- β シグナルによる腸上皮細胞分化・消化管がん制御 |
| 創薬科学 | 分析化学 | 教授 唐澤 悟 | 薬品分析化学 | ①ガドリニウム代替造影剤の開発 ②長波長発光分子の開発 ③温度応答性分子を使ったがん診断キットの開発 |
| | 薬用植物資源学 | 教授 高野昭人 | 薬用植物資源 | ①薬用植物の特性評価と栽培方法の確立に関する研究 ②薬用植物の分類に関する研究 |
| | 天然物化学 | 准教授 中根孝久 | 天然物化学 | ①生物資源(植物、海洋生物、微生物など)に含まれる新規生物活性物質の探索 ②天然有機化合物の生合成機構の解明と利用 ③トリテルペノイドを指標としたシダ植物のケモタキソノミー研究 ④生理活性天然物の探索 |
| | 医薬分子設計学 | 教授 伊藤俊将 | 医薬分子化学 | ①核内受容体リガンドの創薬研究 ②構造生物学的手法によるリガンドと標的分子の相互作用様式の解明。 |
| | 医薬品合成化学 | 准教授 山崎 龍 | 薬品化学 | ①分子構造・分子配列の制御に関する研究 ②アミド結合類縁体の合成、構造、機能発現に関する研究 |
| | 薬物動態学 | 准教授 清水万紀子 | 薬物動態学 | ①薬物の生体中濃度の個人差と代謝酵素の遺伝子多型 ②代謝酵素を介する相互作用研究 |

| | 分野 | 研究指導教員 | 研究室等 | 研究テーマ |
|------|---------|----------|--------|--|
| 創薬科学 | 創剤学 | 准教授 小泉直也 | 薬剤学 | ①ウイルス感染を標的とした創薬研究 ②ウイルスタンパク質を利用した新規 DDS の構築 |
| | 薬効解析学 | 教授 水谷顕洋 | 薬物治療学 | ①細胞内 Ca ²⁺ 作動性 orphan GPCR のスクリーニング。 ②当大学が有する低分子化合物ライブラリーから細胞内 Ca ²⁺ 作動性に影響を与える化合物をスクリーニングする。 |
| | 医薬品安全性学 | 教授 渡部一宏 | 実践薬学部門 | ①臨床製剤に関する基礎及び臨床研究の実践 ②患者アウトカム評価に関する研究 |
| | 社会薬学 | 教授 宮崎生子 | 社会薬学 | ①医薬品安全性情報等に関する教育現場の実態調査 ②日米欧三薬局方等の国際比較研究 |